

武蔵御嶽神社 石段修復事業の 現状と今後について

はじめに
武蔵御嶽神社（以下、当社）では、平成九年より御講中の方々を中心とした崇敬者の皆様の御寄進による、統一規格の御影石を用いた神社参道の石段修復事業を進めております。ここでは、本事業の現状と今後に向けての課題について御報告をさせていただきます。

現状

当社の参道のうち、鳥居前広場より当社拝殿前までの石段は、三百二十六段を数えております（平成二十一年五月末日現在）。このうち九十八段について、別表に掲げさせていただきました御講中（一部に篤志家を含む）の方々からの御寄進により、整備をさせていただきました。御崇敬の念に、あらためて感謝を申し上げます。
また、平成九年の事業開始以前にすでに整備が済み、土台、石段共に安定しつつも、石の風化が歴史的景観を印象づけている区画が二区画・四十六段あります。

課題
約十二年にわたり継続してまいりました本事業もいくつかの課題を抱えております。



第一には一区間の石段数の問題点があります。未着工区間には、一区間が一、二段という段数が極めて少ない区間、もしくは、十段以上になる長い区間が存在しております。せっかく御寄進の御気持があっても予算と合わず断念された事例もあります。二つ以上の御講中にて合同事業により長い区間を整備していただいた事例

も複数ありますが、最長で四十数段に及ぶ区間には特別な対応策を講じる必要があります。
第二としては、土台補強工事の必要な区間の存在があげられます。御嶽山頂にある当社は、立地条件上斜面に参道があります。石段の痛みの原因としては風雨による土砂の流失が、主な要因となっております。場所によっては石段の整備以上に多額の費用がかかる土台補強工事を併せて施工する必要があります。当社としても、土台補強を可能な限り行っておりますが、石段の整備時期との調整が必要であります。
第三としまして、個人・一般の崇敬者の御寄進の受け皿の問題があげられます。当社では御講中の方々を中心に、石段複数段にわたる一区間を一つの単位として御寄進を頂いてまいりました。個人・一般崇敬者の方々も御意思があっても石段数段単位では負担が大きく、御要望にお応えできない状況でありました。年間を通じ当社へ営繕資金を多くの方々が寄せてくださいます。個人・一般崇敬者の方々にも広く御寄進を御願いしながら、整備を進めることの必要性を感じております。

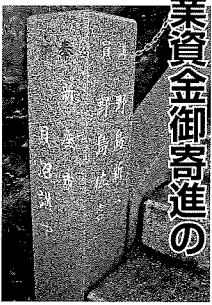
将来にむけて
以上のような課題の解決に向け、当社では御講中の方々をはじめ、個人・一般の崇敬者、企業の方々からの奉賛の御気持を汲み上げ、長い区画の工事を計画的に行う制度を設けることを検討してまいりました。
平成二十一年正月よりは新たな試みとして、予め一口の定額を設けさせて頂き、多くの方々よりの寄進をつる方法を探らせて頂いております。
また、従来からの御講中を中心とした方々の御寄進も、引き続き御待ちをしております。石段に限らず、階段踊り場部分の「石畳」、御参拝の方々の助けとなる「手摺り」等の参道の整備につながる箇所への御寄進を頂いた事例もあります。
本事業は、御嶽大神への皆様の深い崇敬の御気持があつて成立するものであります。厳しい日本経済の状況下ではありますが、御寄進の御気持がございましたら、当社社務所、もしくは御講中・崇敬者の方々との間を取り持つ御嶽山の各御師に御相談をいただければ幸いです。

参道石段寄進講中・崇敬者一覧

板橋区 徳丸講	石段12段	平成9年5月吉日	西東京市 豊栄講	石段5段	平成15年5月吉日
新座市 貝沼講	石段14段	平成10年10月吉日	武蔵野市 関前講	石段5段	平成16年10月吉日
戸田市 沖内講	石段5段	平成11年10月23日	練馬区 沼辺御嶽講	石段8段	平成18年12月吉日
練馬区 大泉一心講	石段5段	平成12年4月吉日	朝霞市 広沢講	石段8段	平成19年10月吉日
保谷市 下保谷講	石段5段	平成12年6月吉日	立川市 中村建設(株)他		
道場講、新栄講、上原・堀内・辻講、石神講、西分講、野火止聯合講、八軒講、中原講	石段31段	平成13年	清瀬市 森田正美、粕谷初雄、繁田文夫	大鳥居下石畳	平成19年7月11日
			川崎市 菅稲田堤講	随神門下手摺	平成21年5月吉日

石段修復事業資金御寄進のお願い

当神社の創建は、遠く崇神天皇の御代と伝えられ、境内全域が文化財に指定されるなど永い歴史が刻まれている。山頂の厳しい自然環境の中で、その維持に心を砕いているところであり、参道の石段も近年老朽化が著しく、参拝者の安全確保のために全面的な修復を余儀なくされております。就きましては、この情状を御理解賜り、石段の修復工事に御浄財の奉納をお願い申し上げます。尚、ご寄進頂いた方々の奉加帳はそのご芳志を末永く留めるため、御神前に供えさせていただきます。さらに、一万円以上のご寄進の方のご芳名は境内に掲示し、五万円以上のご寄進の方のご芳名は竣工時に石段の石柱に住所・姓名を刻し、永く保存致したく存じます。
柱の一面を用いてご篆刻の場合は三十万円とさせていただきます。



奉納

石段修復事業資金 平成二十一年五月三十一日

- 三十万円以上
東京都町田市 三澤 幸雄
東京都町田市 大塚 博子
東京都武蔵村山市 有限会社サンペー
東京都昭島市 中嶋 理明
東京都昭島市 進藤 喜一 喜美子
東京都昭島市 吉野 勝利
東京都昭島市 古里 昭弘
東京都昭島市 株式会社 島田造園土木
東京都昭島市 松本 定勝
東京都昭島市 中嶋 理明
東京都昭島市 塩田組
東京都昭島市 村上 和巳
東京都昭島市 京ばし 末吉 康祐
東京都昭島市 桑原 利
東京都昭島市 岡野 守寿
東京都昭島市 荒幡 雅一
東京都昭島市 志村 義和
東京都昭島市 菅田 一
東京都昭島市 吉野 敏之
東京都昭島市 吉野 保雄
東京都昭島市 阿川 哲夫
東京都昭島市 島岡 マミ
東京都昭島市 島岡 秀行
東京都昭島市 柿崎 裕治
東京都昭島市 青木 克夫
東京都昭島市 井上 龍二
東京都昭島市 井上 明
東京都昭島市 田中 行夫
東京都昭島市 小島 賢一
東京都昭島市 島田 智
株式会社荒井電業社
荒井 清一郎
並木 健治
出射 聡明
佐々木 重彦
鈴木 泰高
森田 朱香子
市川 実
齋藤 順逸
紫野 正雄
三宅 剛史
大場 信雄
五十嵐 行男
酒詰 露子
- 東京都三鷹市 中分 秀雄
東京都板橋区 荒井 雅久
東京都日野市 遠藤 剛
東京都八王子市 内田 光孝
東京都あきる野市 内田 昌寿
東京都青梅市 佐藤 惣一
東京都青梅市 尾玉 源太郎
東京都青梅市 石井 裕彦
東京都青梅市 藤本 義男
東京都青梅市 田口 安治
東京都青梅市 株式会社 下田工務店
東京都青梅市 三澤 幸雄
東京都青梅市 山崎 取
東京都青梅市 瀧 桂郎
東京都青梅市 金井 國俊
武蔵御嶽神社 総代一同
- 東京都府中市 府中文化振興財団
東京都深谷市 深谷 一心講
埼玉県川越市 酒井 靖夫
埼玉県深谷市 深谷 一心講
埼玉県川越市 金子 千侍
埼玉県皆野町 白根 真澄
東京都八王子市 樋口 淳一
東京都奥多摩町 大泉幸西講 加藤友久
東京都府中市 大泉幸西講 加藤信昭
東京都青梅市 天王奉賛会
東京都青梅市 龍島 春夫
東京都青梅市 池田 桂郎
東京都青梅市 大久保 雄二
東京都青梅市 河村 昭男
東京都青梅市 濱中 宗佑
東京都青梅市 高田御嶽講
東京都青梅市 小林 保一
東京都青梅市 高野 鉄夫
東京都青梅市 田中 誠治
東京都青梅市 並木 利男
東京都青梅市 平野 亨
東京都青梅市 五十嵐 剛
東京都青梅市 宇田川 洋子
東京都青梅市 宇田川 文男
東京都青梅市 鴨下 義康
東京都青梅市 宮田 ユウ
東京都青梅市 狭山ヶ丘講中
東京都青梅市 狭山流尺八楽会関東支部
宮井 章
宮井 美美子
宮井 利佳子
和風会

上奏楽神々々

(平成20年6月1日から平成21年5月31日)

横浜市 新原区 篠原講中	川崎市 練馬区 大泉幸西講中
青梅市 竹ノ内島崎講中	川崎市 練馬区 馬淵講中
富士見市 カンタンの声を聞く会	川崎市 練馬区 上ノ原堀之内辻講中
はらしま会	さいたま市 西堀上ノ宮日向講中
飯能市 さいたま市 清河寺御嶽講中	飯能市 飯能一丁目永代御嶽講中
板橋区 飯能市 秦野太々講中	板橋区 飯能一丁目永代御嶽講中
大田区 飯能市 上板橋桜川敬神講中	大田区 飯能一丁目永代御嶽講中
松戸市 飯能市 六郷御嶽参拝講中	松戸市 飯能一丁目永代御嶽講中
川崎市 飯能市 菅田御嶽講中	川崎市 飯能市 菅田御嶽講中